

「今から後、主にあって死ぬ者は幸いである。」

黙示録 14 章 13 節

今年も召天者記念礼拝の日を迎えました。召天者記念礼拝は、先に天に召された方々を偲び記念する礼拝です。

「記念」とは、その人の人となりを思いめぐらし偲ぶことです。その人がこの地上でどのように生きたのか、その人が主の前にもどる様に生きたのか。その人の生き方を範として、私たちもその足跡に倣うことを決心することです。

すべての人間は、死から逃れることにはできません。しかし、キリスト者にとって「死」は決して悲しみだけではなく、むしろ幸い

なのだ、というのです。召された方々は、主と結びつく喜びを持っておられたのです。

聖書はすべての人間は、死後、審判がくだされ、然るべき裁きを受けることが定まっていると教えています。しかし、主イエスを信じて死ぬ者には、この恐ろしい裁きがキリストの十字架の贖いによって赦されています。その意味で、キリスト者は永遠の安らぎを得ることが出来るのです。

そして、信仰者にとっての死は、ある意味で一會兒のところに移される事なのです。言い換えれば、ある部屋から完璧に整った

神様の臨在の部屋に移されるようなものなのです。

神の前に於いては、行いの報いはその行いに応じてなされる、ということですが。つまり、主にあって死ぬということは、死後必ず公平な評価を受ける、ということの意味しているのです。

しかし、神様の恵みは、死んだ後に天国だけで味わえるものではありません。この恵みは、今生きている私たちがこの地上で前味わい出来るものなのです。私たちも過去を省みるだけでなく、今日、同じ恵みを頂けるよう、召天された方々を「記念」

し、一日一日を歩んでいくことが、大切なのです。

【新型コロナウイルスについて】

(続報 7月5日付け)

■7月12日以降の礼拝出席

*礼拝時間

第1礼拝 午前9時〜10時

第2礼拝 午前11時〜12時

・従来への礼拝時間に戻ります。

(午後の礼拝はありません)

①教会員とそれに準じる方ならびに 継
続来会の方

どなたでも礼拝式に出席できます。

(距離や年齢等の制限はありません)

②新来者など一般の方

どなたでも礼拝式に出席できます。

ただし、氏名・住所・電話番号を残して
いただきます。

(万が一感染が生じた場合など、連絡
を取るために必要です。)

出席を希望するすべての方に、原則と
して事前予約をお願いします。

・期限 毎週、金曜日迄に申し込み

・方法 電話・FAX・メール

電話受付は朝10時〜夕5時

*無理はなさらずに:

風邪症状があるなど体調が優れない方
は出席を控えてください。

感染リスクの高い方や、出席に不安を
覚える方も出席を控えてください。

■礼拝映像ネット配信

7月12日以降も継続します。どうぞご
活用ください。

第1礼拝(9時)を配信します。

11時からは録画を見ることが出来ます。

■小学科礼拝 7月12日より再開

時間 午前10時30分より。

プログラムの時間短縮、距離の確保、
換気の確保などを行いながら再開します。

礼拝終了後に解散し、午後に遊ぶことは
できません。

■週報郵送

7月26日付週報をもって終了

■その他の教会プログラム(祈祷会・例会
など)は、当面お休みします。